今回登場された会員からバトンを渡された会員の皆さんは次回の掲載になりますのでよろしくお願いいたします。

東北電友会会報　編集委員会

※氏名の後の（　）は退職年を示す。

いちのせき電友会
佐藤　和夫（平7）
からのバトン
水沢地区電電友の会
吉田　幸男 さんへ

今回会員リレーコーナーにて、かつてお世話になった五ッ橋クラブの佐々木敦さんよりバトンをいただきました、いちのせき電友会の佐藤和夫です。

毎年配布いただいております東北電友会会報を楽しみに拝見しております。

あの日あの時、あの方にお世話になったが「今どうしているんだろう?」とか、懐かしいお名前を見つけるごとにあの方もお元気で趣味にボランティアにご活躍されているご様子を拝見し心温まる思いがします。

その節はたくさんの先輩・同僚に励まされここまでこれたことに感謝申し上げます。

最近は年賀状も「健康チェック」となりつつあり、皆さんとの親交が薄れていくことに寂しさを感じております。

特に今年気にかかることが数件ありました。「来年から年賀状を失礼したい」とのこと…高齢化社会の昨今、相手の方へのご負担を強いるのも失礼と思い、お手紙を添えてお元気にお過ごしくださいます事を祈りご連絡させていただきました。

小生も加齢とともに気力・体力・精神力そして老化に伴うボケと毎日戦っております。

昨年開催の「いわて国体」でデモンストレーションスポーツとしてスポーツ吹矢に参加したことを機に地域の皆さんと週3日ほどパーフェクトに向け挑戦しております。

スポーツ吹矢は、6～10m離れた的をめがけて矢を放ちその得点を競うスポーツです。

上達の秘訣は、腹式呼吸をベースにした「スポーツ吹矢式呼吸法」です。精神集中や血行促進、細胞の活性化にも良い影響を与える…と言われております。

毎年、岩手大会・東北大会が一関市で開催されるため事務局として準備にてんてこ舞いの日が続きます。

各県の支部で見学会・体験会を開催しております。皆さんのご参加をお待ちしております。

次の会員リレーは、宮古・水沢電話局時代に一緒に働いた吉田幸男さんへバトンをお渡しします。

いちのせき電友会
菅原　洋（平12）
からのバトン
五ッ橋クラブ
小山　廣城 さんへ

大久保元司さんご指名ありがとうございます。久しぶりの声を聴いて、通機部時代を懐かしく想いだされました。

第二の会社も退職し、早や10年が経ちました。

退職後は興味のあった家庭菜園での野菜作りに本腰を入れ、野菜の種や苗を植えました。幸い隣の畑の持ち主は農家の方で、種をまく時期、苗を植える注意など、私にいろいろ教えてくれて期待した以上の収穫がありニンマリと快感をおぼえていました。

そんな折、平成23年（3・11の年）4月から自治会長を引き受けることになり、今年で4期7年目となります。

引き受けた大きな理由の1つが長い単身生活でほとんど町内会に協力することができなかったことの罪滅ぼしと恩返しのつもりでした。

引き受けた1か月前に東日本大震災があり、町内会の安全安心をどう確保したらよいか今も思案しております。

小さな町内会ですが、例にたがわず少子高齢と空き家が目立ちます。そんな町内会のコミュニティーづくりに悩んで、ついに頭髪が無くなってしまいました。が、同居している息子夫婦や孫たちと日々楽しく暮らしております。

会員リレーは一関や弘前でたいへんお世話になった五ッ橋クラブの小山廣城さんにお願いします。

五ッ橋クラブ
藤枝 美津子（平10）
からのバトン
大崎クラブ
大泉 美江子 さんへ

バトンを下さいました千田ケイ子さんとは年1回、年賀状でのお互いの状況報告でしたが、このコーナーのお蔭で再会し、旧交を温める事が出来ました。現役時代ネットワーク商品を代理店販売に拡大するという「販売パートナー担当」として、お互い知恵を絞りながら奮闘したことを、懐かしく語り合いました。色々ご指導いただきましたこと感謝いたしております。

現在、退職後に参加した、でんでん宮城いきいきネットワークのサークル「ウェルネットみやぎ」で25名の仲間と共に点字翻訳をしております。このサークルは歴史も長く4月に20回総会を終えた所です。主に朝日新聞の「ひと」の欄や一般図書を、パソコンを使って翻訳を行っております。

昨年は仲間と共に6冊の一般図書を翻訳いたしました。1冊でも多くの本を翻訳し、目の不自由な方に「自由に本が読める喜び」のお手伝いが出来ればと思っております。

入会して既に十数年になりますが、まだまだ初級の域を脱しきれず参考書を片手に苦闘しておりますが、楽しい仲間、向学心に燃えている仲間と共に、この活動は自分への励ましとして続けていきたいと思っております。

バトンは、公衆電話事業部時代初めてご一緒にお仕事をさせていただきました、大泉美江子さんにお渡しいたします。ご退職後、陶芸に打ち込み、鳴子温泉で工房喫茶「ほうめい館」を経営してご活躍の日々をお過ごしです。いつもお声を掛けていただきながら暫くお会いしておりませんが、今年こそはお訪ねしたいと思っております。大泉さん宜しくお願いいたします。

霞城クラブ
押切 恵一（平7）
からのバトン
五ッ橋クラブ
田沼 正隆 さんへ

先般、長岡廣さんから何十年ぶりになるか電話を頂き懐かしい声に暫し聞き入っていました。

近くにいながら疎遠になっていることを謝り近況を話し合いました。

長岡さんには、ＮＴＴ山形支店時代公私に渡り大変お世話になり改めてお礼申し上げます。

ＮＴＴを退職して22年が経ち後期高齢者の仲間入りもしました。

在職中は趣味を持つなど一切考えませんでした。ただ酒味（しゅみ）のほうはいたって体が丈夫と思い今まで毎日続けてきましたが齢のせいかこの頃体調を崩し禁酒を余儀なくしております。

しかし、趣味だけはＮＴＴを退職した年に何十年か前に年1～2回やっていたゴルフを思い出し健

康維持を兼ねてと思いゴルフをやりはじめ現在にいたっていますがいくらやっても上達しません。
これも持って生まれた天性かと諦めながら時には「努力」の二文字を思い出し、ゴルフというのは奥が深く、自己責任でプレーしいくら頭にきても最後までマナーを守ってやる、まさに自分にとって精神修養の道具と思い体の続く限りゴルフを唯一の趣味にしてやっております。
現在は「ななかまどゴルフ愛好会」に入会し年8回山形県内のゴルフ場で仲間と競い合っております。
私が座右の銘としている四字熟語を紹介します。「健友交楽」です。意味は、健康で多くの友達とコミュニケーションをとり楽しく過ごそうということです。皆さん如何でしょうか?
現在は山形市の隣町山辺町で妻と次男夫婦、孫2人（中学3年、小学5年）の6人家族で孫達に囲まれた賑やかな生活を送っております。
次のバトンは、山形在職中公私にわたり大変お世話になり又退職後もアルバイト等のお世話を頂きました田沼正隆さんにお願いいたします。
田沼さんお元気ですか。風の便りでは趣味を大分広げられご活躍されていると聞いております。これからも宜しくお願いします。

五ッ橋クラブ
日下　達夫（平11）
からのバトン
五ッ橋クラブ
中島　紀夫 さんへ

佐竹さんご指名ありがとうございます。引き続き定例飲み会よろしくお願いします。
NTT退職後ドコモグループでお世話になり平成17年に引退し、早や12年になりました。
現役時代は、電話・データ・画像・電信・パケットそして移動通信と広く浅く経験することができこの間、多くの仲間とめぐりあえたことが一番の幸せです。
引退後は趣味一筋で、昔遊びのボランティアや道の駅めぐりなどにも取り組みましたが、いまでも続いているのが家庭菜園とゴルフです。家庭菜園は天候に左右されながらも土づくりや生育過程の世話そして手間をかけただけの収穫など楽しみがいっぱいです。何より無農薬有機栽培で安心・安全な野菜を孫たちにも食べさせることが出来るのが一番です。
ゴルフは昔の仲間といくつかのグループで年間30回くらいプレーを楽しんでいます。特にデータ本部時代の仲間とは全都道府県でのプレーをめざし、観光を兼ねながら続けており今年は新潟県を予定しています。
これからも健康第一で「加齢なる日々」を楽しんでいきたいと思います。
次は仙台電話局入社以来、公私ともにおつきあいいただいている中島紀夫さんにお願いします。

五ッ橋クラブ
村上　佑剛（平7）
からのバトン
五ッ橋クラブ
大澤　孝夫 さんへ

町内、家内の友人で花や野菜栽培のベテラン浜田さんからバトンを受けました。ありがとうございます。
私の現職当時は技術畑で通信設備の保守作業、後に通信設備の設計や計画業務に従事。当時の事業目標　加入電話の「積滞解消と全国自即化」その関連作業に取り組み、かなり忙しかったと記憶しています。
振り返れば仕事中心の毎日、時折仲間とのゴルフ、趣味の山歩き程度でした。
退職後は協力会社に再就職し十数年間勤務、ようやく時間的余裕も持て、6人の孫との交流、家族と海外旅行もしましたが、地域社会への奉仕は全くやりませんでした。

その反省から会社退職を機に、町内会、民生委員、社会福祉協議会などの世話役を引受け高齢者への福祉活動に取り組みました。学んだことは高齢者が、地域社会の中でそれぞれ事情を抱えながら一生懸命生活している姿に接したことです。

高齢者介護の在り方も少子高齢化社会の中で自助、共助、公助と言われそれぞれ取り組まれていますが、今後も大事な課題の一つと思われます。

このたび世話役卒業を迎えたので、今まで学んだ事を糧に「適度なアルコール・運動・学習」を心がけ、野菜づくりをやりながら静かに暮らしたいと思っています。

私からのバトンは、現職当時からゴルフ・海外旅行等一緒に行動し、野菜づくりの師匠でもある大澤孝夫さんにお願いします。

霞城クラブ **鈴木　秀敏（平9）**
からのバトン
千秋クラブ **高田　孝紘** さんへ

横山さん、お元気な様子何よりです。お便りの最後に福島県、新潟県、山形県の県境にある飯豊連峰に面白い地域があるので調べてみたらいかがでしょうか、とのコメントがありました。飯豊山は私が生まれ育った長井市からも見えるので興味があり一寸調べてみました。それは明治時代、福島県庁移転問題に端を発した県境争いの産物でした。簡単に言えば山形県、新潟県境の三国岳～飯豊山～御西岳沿いに幅１ｍの福島県の道路が7.5㎞も続いています。今まで知りませんでした。地図を開いて良く見ると確かにありました。本当に不思議です。皆さんも一寸地図を開いて見て下さい。本当に面白いことです。（横山さん間違っていたら御免）

少し自分の話をします。一番困るのは「今、何してますか？」と聞かれた時の返事です。答え切れません。毎日、日曜日です。

会員の皆さんは、畑や色々な趣味を持ち充実した生活を送っているようですが、私は特段、皆さんにお知らせする様なものはありません。無理して言えば「晴歩雨読」です。（遠藤周作の小説に出てくる「晴耕雨読」のマネです）実は日曜生活も充実しています。家の回りの掃除、庭の草むしり、落葉拾い、垣根の刈り込み、植木・鉢物の水遣り、家の中の不具合いのメンテ、近くの観光、買物、その他に色々あり「老い支度」までは手が回りません。時々医者のお世話になっていますが、日常生活に支障なく暮らしております。

自分に合うシルバー川柳「希望なし、目標なくて、自由あり」です。

次にバトンを受けて戴くのは、秋田の高田さんです。よろしくお願いします。

会報編集委員会では会員の皆様からの原稿を募集しております。

でんでんみちのく　川柳コーナー

◯川柳　〈お一人３首（句）以内〉

※投稿は紙面の都合上、一人３句までとさせていただきます。
多数投稿されている場合は勝手ながら編集担当で選定いたします。

お題は自由です！
お気軽に
応募ください！

文芸欄

俳句

福島地区電友会
関戸　武

水馬いくら跳ねても元の水
紫陽花の今日と言ふ彩尽くしけり
穴に入る蛇に装ひありにけり

福島地区電友会
加藤　良栄

私を突き差す如く椿の緋
タイの春肘枕する寝釈迦像
卓上に歳時記二冊春炬燵

弘前地区電友会
倉谷　景子

白抜きの四股名はためく五月場所
髪濡れて姉といもとの庭花火
古書店の金魚は澄色もの言はず

八戸地区電友会
敦　子

陽炎へつぎつぎランナー続きけり
岩礁に波の泡立つ梅雨曇
産土の丘より眺む豊の秋

霞城クラブ
黒木　恭悦

亡き妻の長所かたらず小正月
老ゆも死も綺麗さっぱり冬紅葉
夜汽笛のひとすじ寒し独居かな

五ツ橋クラブ俳句同好会
青山　誠一

物に美をかもさんとする春の雨
囀りを抱きこめたる大樹かな
冬怒涛宙を偲びて盛りあがる

赤木　善男

吹溜る葉っぱ渦巻く空っ風
初景色昔二階家今ビル街
鶴亀の技梯子乗り出初式

泉　アヤ子

稲株に蝶舞い止る日和かな
露草の青色光る露に濡れ
冷奴薬味ひとつで旨みあり

斎　仁二郎

娘来る妻の遺品の日傘にて
夏草や祖父の畑はこの辺り
幼子もその母親も昼寝中

佐々木栄一

月山を海まで轉げ春の雷
マスクの娘眼と眼で愛を交わしけり
人生を賭けて着席大試験

菅原　了二

とんぼうの群れ飛ぶ原や時津風
ゐのこづち縋（すが）りし吾は米寿なる
雪吊りの縄の流れや松映ゆる

富樫　瞭

黒髪を三月の風もてあそび
甚平やたてよこ抜ける風の道
いつの間に庭に一輪秋桜

川柳

五橋川柳会　会員作品抄

赤木　邦夫

男ならここ一番で発揮せよ
満員で席をゆずられ歳を知る
雨の日に綺麗に咲いた二輪草

金澤　克人

決戦に男の骨が熱くなる
贖罪の祈り重ねる遍路旅
コスモスに風の吹いてる無人駅

小柳　芳雄

蝋燭が燃えつきて知る星明かり
折れ目ない諭吉を孫は栞にし
新しい靴の軽さよウォーキング

齋藤　弘一

試食した柿に小さな秋を知り
名月を家族に告げて靴を脱ぐ
来し方を遥かに憶う旅の空

短歌

五ッ橋クラブ

川上　清

手にとりし講座の文に新しき
世界のありて心はずめり

音もなく松葉より散る粉雪の
かがやき満てり年の始めに

笠島の道祖神神社の夕かげに
朽ちし石碑の文字撫でて読む

詩

盛岡電友会

電信電話記念日

堀根麟太郎

元気ですか
ああ元気だよ
それはよかった
あの顔この顔
顔　顔　顔
生き生きとした会話
懐かしき仲間たち
ああだった
こうだった
苦しかったこと
楽しかったこと
思い出に
青春がよみがえる
私に青春を与えてくれる
この集い
ああ
電電記念日祝う会は
青春の泉だ

随想

いまだから話せること

五ッ橋クラブ　佐藤　金市郎

時は昭和30年湯沢電報電話局勤務のころのハナシ。当時、冬の採暖は薪ストーブでしたので、夏ごろには薪の調達をしなければなりませんでした。なにしろストーブ十数個の分ですから相当の量で金額もはります。材質はクヌギ、栗、ブナ、楢などですが、やはり楢が火もちもよく一番です。契約予定の現場確認調査のため、施設課の車を借りて契約担当ほか2、3人で山奥の現場（奥羽山麓の皆瀬村）に向いて確認したあと、近くの小安峡温泉で休憩、渓谷の噴湯脇のほんとの野天ぶろをあじわいました。さらに奥の須川岳（須川温泉）を極めようと登りかけたら、未舗装の悪路のトラックの轍にハマリ、車のハラに傷つきガソリン漏れ、運転不能、さあ大変、連絡のとりようがありません。万事休す。幸いなことに折よく工事用トラックが登って来て「山頂に臨時無線公衆電話取付工事で一関電報電話局の人たちがいるから」と教えられ、牽引してもらい、頂上で同局の人たちから修理していただきその上ガソリンまで頂いてようやく帰って来たことがありました。佐々木司局長さんだったと思いますがお世話頂いた方々お元気でしょうか。改めて60年前のお礼を申しあげます。時間も遅くなっているが携帯電話なども無い時代のこと連絡のつけようがありませんし、また、よもやこんなことになっているとは誰も思っていないだろうと。どうせ家族も「また呑んでいるんだろ」と。まあいいや、と、ハバキぬぎと称して無事を祝って飲み屋で一杯。深夜の帰宅となったのでした。翌朝出勤してこの話をしたらみんな大笑いですみましたがいまだったら処分問題ですよね。因みに当時の小安峡、須川両温泉は湯治場でしたが今は観光温泉地になっているようです。

　また、同じ頃の恥ずかしいハナシ。ある日通信局（仙台）に出張して昼食を職員食堂でとりました。まだメニュー数も少ない時でしたが安くて美味しそうなザルソバをとり、タレをソバにかけたらタレがザルから洩れてテーブルから床に流れ出しました。「タレにつけてたべるんだよ」と言われ、汚れを始末していただいたことがありました。伊奈勝平だったね。いまは？ソウネエあまり変わりませんね。

　なにしろ公社42年、通信印刷18年と長ーい勤めでしたからね、イロンナことがありましたがいまとなっては懐かしい想い出の一ツです。

小安温泉渓谷の野天ぶろ

施設の朝

千秋クラブ　工藤　敏夫

食堂前の廊下に朝食のため車椅子に乗った年寄りの男女が列をつくって待っている。此処はサービス付き高齢者向け住宅で60才以上の自立・要支援・要介護の方が入居している老人ホームです。食堂をレストランと云っており、朝食時間は7時から9時迄の2時間になっている。席数は36席ありますが入居者はそれ以上居りますので特に席は決まっておりません。一般的に老人ホームは入居者と同数の席があり、席も決められている処がありますが、此処では好きな時間に好きなものを、温かいものは温かく、冷たいものは冷たくして食べさせてくれる。夕食の場合などは自分の選んだ調理法、魚の場合は塩焼き・煮付け・フライ揚げなどが選択できる。多少時間がかかりますが美味しく食べられます。

7時になると朝食を知らせる全館放送があり車椅子の方は職員から押してもらい、自分で操作して夫々好きな席に着きます。

自立できる人も席に着くと、職員の方がお盆にのせた「お茶・箸・大きい皿」を食卓に持ってきてくれる。朝はバイキングなので目玉焼・ソーセージ・和え物・漬け物・梅干し・納豆・煮豆・温泉玉子・ヨーグルト・ご飯・味噌汁などを職員が台車に載せ、好きなおかずを好きな量だけ皿にとってくれる。

お粥・パンもご飯代わりに食べられて便利。車椅子の方で1人で食事が出来ない方には職員がより添って話しかけながら食べさせてくれる姿を目にすると吾がことのように有難いなあと思い何時も感心しています。

口から食べ物を摂るのは、脳の働きを活性化させ健康に良いと云われている。普段余り考えたことはなかったが口で食べられるのは有難いことと思っている。

食事は(1)生きるための栄養。(2)旬の食材の味を楽しむ。(3)食事しながら談笑の楽しみ。此処でこの3点を充たしてくれている。

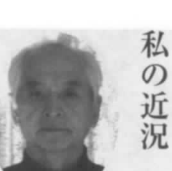
9月9日の昼食は揚げたての天婦羅。材料は海老・茄子・菊の3点。丁度この日は五節句の1つ、重陽の節句で菊にかかわりのあるめでたい日だったのでその心づかいが感じられた。

1人暮らしで心臓の持病があり冬に体調を崩し入院した私に担当医が暑さも心臓に良くないから冷房完備の処に入居して、3食きちんと摂る様にとの助言を守って7月から施設の生活を続けている。

3度の食事が時間通りに摂れ、規則正しい生活が体調を維持するのに役立っていると思っている。

同じ朝は巡って来ない。照る日曇る日、今日何が起こるか判らない。毎朝、自室のカーテンを開く。そんなに遠くない電話局の屋上から青空に向って赤と白に彩られた鉄塔を窓越しに見上げて大きく深呼吸すると何故か気持ちがすっきりする。（平成28年10月）

私の近況



気仙沼クラブ　小鹿　勝弘

仙台の職場（専用線サービス担当）で13年間お世話になり65歳で地元気仙沼へ戻り、地区自治会長になった翌年大震災が発生し、考えられなかったいろんな経験をいたしました。会長職の4年間かかさず毎月1回自治会だよりを発行しながら地区の方々と楽しい事業を計画実施し親睦と交流を深めて参りました。

69歳で妻と「宮城いきいき学園気仙沼・本吉校」に入学、時々発生するプレッシャーを受けながらも月2回の学習日には休むことな

く2年間通い続けました。文化祭、修学旅行、植樹祭、初めての調理、体育活動と盛りだくさん、これからの生活に生かせる講義もたくさん受けさせていただきました。すばらしいメンバーにも恵まれ、いつでもどこでも自然に笑いが起こり、二度と経験できない人生最高の学園生活を送ることが出来ました。

園生の勧めで「気仙沼市パークゴルフ協会」、「気仙沼中央グランドゴルフ協会」、県古希野球加盟の「唐桑マリンスターズ」の3団体に入会し同年代には負けたくない一心で張り切っています。思いどおりにならない戦績に少し落ち込んでいます。野球は8月北海道遠征があり今から楽しみにしています。私達の健康維持には、クラブ1本、ボール1個で緑豊かな芝生でプレーを楽しめるパークゴルフは最高だと思います。

70歳で「生き生き学園」を卒業し、我流で扱っていたパソコンの基礎を学ぶため市の「パソコンの集い」に1年間通いました。参加したメンバーで「福寿荘パソコン愛好会」を結成、今は会員34名となり、学研の2016シリーズを教科書にして月2回楽しく学習しています。

今年度も自分流健康法を守り、ラグビーの「釜石SW」の試合を追っかけながら、宮城県からいただいた「生きがい健康作り推進協力委員」として同年代の仲間と一緒にしっかり歩んで参ります。

孫子の兵法

電友あさか会　品川　萬里

「孫子の兵法」という表現がありますが、私なりの「孫子の兵法」とは、いかに孫や子どもの世代に目を向け、気を配るかです。

今年3月に学校指導要領が改訂され、「覚える教育」から「考える教育」へキーワードが変わりました。また、2020年には大学入試制度改革が控え、学校も、親も新たな教育に取り組まなければなりません。

我々のかわいい孫・ひ孫たちが、今まさに大きな変革の波に立ち向かわんとしております。私たち世代にできることは、たとえ小さなことでも積極的に「孫育て」「ひ孫育て」に関っていくことかと存じます。勉強を教えるだけでなく、一緒に遊んであげること、本を読んであげること、片付けしてあげることも社会性を学ぶ上でとても大切なことです。

我々自身がこうして元気に活躍できているのも、先人たちの子育てのお陰です。先代に頂いた恩をそっくり次の世代に送る「恩贈（送）り」と申しましょうか、我々が育ててもらったように、我々も子供たちを育てる責務があります。

世はまさに「一億総活躍」（郡山市は市民総活躍）」時代。ともに「育パパ」「育メン」ならぬ「育爺」「育婆」を目指し、「孫の手」になりましょう。

「米寿」を迎えて

電友あさか会　橋本　瑞男

定年退職してから、何時の間にか30年の歳月が流れ、人生節目の「米寿」を迎えることが出来ました。これも偏に電電公社時代の先輩はもとより後輩そして、同僚や友人の皆様の支えがあったからこそ今日を迎えることが出来たと思われます。

思えば70年前、戦後の混乱期に仙台搬送工事局郡山電話中継所駐在として工務員に採用され、電信電話事業の搬送部門に在籍し40年間お世話になりました。

昭和37年の郡山電話局自動電話改式時、搬

送部門にも夢のような同軸ケーブルが関東から東北の地まで延長されて来る。約千回線の市外回線を収容される搬送装置が設備されて開通した。電電公社の目標である全国即時通話に一歩前進し、昭和38年には会津若松局が自動電話改式されて搬送部門にも電話中継所が新設された。

各局所にて自動改式が進む中、新設の中継所に転勤となり、これが私にとって転勤人生の始まりでした。

郡山から会津若松・福島・山形・米沢・二戸・酒田・石川と20数年間、各局所の皆様にお世話になり、退職時には郡山に戻り本当に幸せな人生でありました。

前の人生は読むことはできないが、「生」ある限り皆様と共に人生を全うしたいと思っております。

健康寿命の延伸

電友あさか会　安部　峯子

私がこれまで元気に過ごしてこられたのも両親・家族・友人・知人等に恵まれたためと感謝しております。健康に関しては、私が退職すると同時に長男がフィットネスクラブの会員権（6万円）をプレゼントしてくれたので、それをきっかけに運動を始めました。

勤めている時も法人会員権で、スイミングなど行っていましたが、退職後は日課のようにエアロビクス・ヨガ・ヒップホップ・社交ダンスなどを20数年余続けております。

この間、海外旅行数回・国内では見たことのない風景・風俗などを見聞し、また、身近なところでは「植物同好会」に２０年余入会しており、年に5回位、珍しい花木などに触れながら、見たこともない種類に出会った時などはとても感動しています。

また、友人とは、年2回位の小旅行をする他、外食・ティータイムなどにて近況を語りあったりしておりますが、家族とも旅行・居酒屋・レストランにも出かけております。

最近は「史談会」（歴史の勉強）に入会して主に郡山の歴史を学んでおりまして、昔から色々な歴史があり、知れば知るほど感心・感銘しております。

これも健康だからできるのであって健康に配意し、健康寿命を延ばすよう心身の運動を続けていきたいと思います。

戊辰の役戦死者供養について

白河地区電友会　河﨑　幸男

私の住む白河市九番町内の松並（乗越）には、戊辰戦争戦死墓が新政府軍・奥州列藩同盟（会津軍）双方の戦死墓があり、約１２０年前から、地元の地主が場所を無償で提供し地元（新町）の住民が毎年旧暦5月1日の白河口戦日（新暦・毎年6月の第1日曜日）に会津弔霊義会を招き白河会津戊辰戦死殉難者慰霊祭を行っている。戊辰戦争での白河口の戦いは7回行われ、初戦は仙台藩を中心に、次戦以降は会津藩を中心とした戦いがあり、会津軍約７００名が戦死し長州・大垣藩17名の墓があり、当時の様子については祖父等から聞いていないが、幼少の頃、戦死墓付近の畑の土手から、数種類の鉛弾を拾い密かに机の中にしまった覚があるので、熾烈な戦いだったと思われる。白河会津戊辰戦死墓管理会の活動に参加して思うに、武士が起こした戦の後始末を代々勝者敗者の別なく戦火で荒れた田畑の復興を抱えながらも、慰霊碑を建て身内と同様に戦死者を供養して来た歴史がある。戊辰の役の良否について、語るほど

知識を持ち合わせていないが、戦火に耐え田畑を守り抜いた先人をたたえたい。白河会津戊辰戦死墓管理会の弔い活動を通じて、子々孫々まで再び争いで、人の暮らしを妨げる世の中ではなく、人が人を支え合う活動に関わっていきたいと思います。

今日より明日

電友吾妻会　髙橋　貞子

月日のたつのは早いもので、私も80才になりました。二本松電報電話局の電話運用課に採用されてから35年。振り返りますと当時の交換機は磁石単式交換機で交換手が手動でお客様に「何番へ」と番号を聞いて接ぐ時代。交換機が、市内台と市外台に分かれて、ずらりと並ぶ交換台。市外台には番号案内席、記録席がありました。東京への通話は福島の局を中継しなければ接続出来ない時代。通話の区分も「特急・急報・普通」等があり、お急ぎのお客様には待ち時間を知らせたり、「急報に変更されますか」等と聞いたり、中には「何時間待たせるんだ。早く接なげ」等の苦情も沢山ありました。その後東京にダイヤルで接ぐ1回線が導入され通話の輻湊が解消された時の事が走馬灯のごとく甦ります。

昭和60年に民営化、クロスバー交換機の導入でダイヤル化が進み番号案内もコンピューターで処理するＡＮＧＥＬが導入され二本松局は福島局に集約されました。

在職中から始めた石垣駒子先生の和紙人形を二本松教室の古山先生の師事を受け師範の免許を取得しました。ヘタな横好きで「いつでも・どこでも・誰とでも」のスローガンのグラウンドゴルフを20年近く楽しんでおります。昨年は地域の大会で春季・秋季大会共優勝しました。最近は編物とつるし雛に夢中です。

道端の雑音（その7）

五ッ橋クラブ　若松　芳陽

・出逢いを大切に－84才にして今想う－

振り返ってみると、様々な人との出逢いから、多くの事を学んできた事に気がつく。

電通省・電電公社そしてＮＴＴとサラリーマン人生。転勤は常識、福島・宮城・秋田の3県38年間、営業・経理・総務・労務等の各部門を11回の転勤で多くの人と出逢い、仕事を通して、また酒席等を通して貴重な経験をさせてもらいお世話になった。

その一つひとつが自分を作り上げている事に今、84歳にして実感している。

その中で、最も心に残るものに、私が初めて管理者になった時、頑張らなくてはと、遂肩に力が入り、迷いがあった時等、上司からの言葉に「お前の性格のままでやればいいよ」。また、飲みながら親友からは、「今まで通り、自分が正しいと思うやり方でやればいい」であった。

以来、挫けそうになる度に、2人の言葉に助けられ生かされて来たような気がする。

「言葉は、時に人を生かしも殺しもする。たかが言葉、されど言葉である。」

多くの方々から得る多くの刺激は、人生の栄養源である。だから「出逢いを大切に」と思っている。

・申年が去って

昨年、２０１６年は「申年」で私の当たり年であったが、良い年ではなく、最悪の年であった。

先ず、次男（56歳）が3月職場の検診で、胃がんを発見され、全摘手術で入退院、現在

は抗がん剤による治療中。日頃、次男は元気で日曜日ごとにボウリングへ誘ってくれ、一緒に汗を流していた。胃がんの話は突然のことで、今は1日も早く快復する事を祈願するばかりである。

そして、10月には、男孫（大学3年21歳）が急逝（火災による焼死）。同居の孫を失った喪失感は言葉にならない。生まれてから今日までの同居生活の日々が想い出され、その思いが断ち切れず、つらさが募るばかりである。大志を抱いて、入学した工学部電子工学科。あと1年で社会人にという途中で・・。悔しかっただろうと思うと胸がいっぱいになって来る。今は、安らかに成仏することを祈るばかりである。

嫌な「申年」を「去る年」で忘れたい。今年は、「酉年」。パタパタバタバタしないよう願っているこの頃です。

かえりみれば（遺作）

電友会さくらんぼ　日下部　眞麒子

私は、東京大空襲を期に舞鶴から両親の故郷である寒河江に疎開してきました。当地の高校を卒業し寒河江電報電話局に務め、交換手やサービス管理係として33年間務めました。

退職後は、常々地域の方々にご恩返しできることをしたいと思っており、近所の子供達を対象に書道教室を12年間開きました。その後は老人ホームでの書道ボランティアを20年間続けております。この間、幸運にも電友会本部の表彰や寛仁親王から感謝状をいただくことができました。

また町においては、厚生保護婦人会を22年間務め、6年間は会長までさせて頂き、多くの方々との出会いを通じて、いろんなことを学ばせていただきました。

主人を早くに亡くしましたが、息子や孫達と共に暮らすことができました。格別干渉されることもなく、好きなことをさせてもらいました。この上ない幸せな人生であり感謝の念でいっぱいです。

6年前に癌を発症し、3年前には転移が見られ、先生と相談して抗ガン治療を止めることに了解を頂きました。お陰で書道と手芸など「趣味の個展」や「愛のハト」のボランティア活動も楽しく続けております。

生を受け80余年「終活」にも心がけねばと思っているこのごろです。

（平成28年10月他界）

◆会友コーナーへの投稿について

◎他紙等への二重投稿はご遠慮願います。

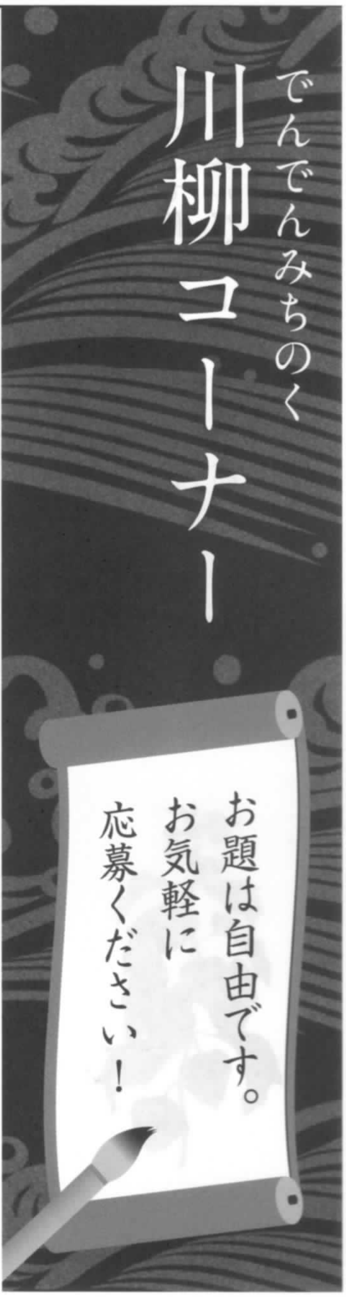
◎随想コーナーへの投稿については誌面の都合上、左記内容にご協力をお願いいたします。

○掲載・・・年1回

ただし、投稿数が多い場合は次号に持越しとさせていただく場合があります。

○字数・・・1200字以内厳守

○次回締切り・・・平成29年10月20日厳守



福島地区電友会　斉藤　政夫

庭の雑草君には負けるその根性

桜ちり俺の出番と目に青葉

福島地区電友会　高橋　敬一

北帰る鳥も立ち寄る花見山

カレンダー総会例会文字増える

日の本の西が気になる南北朝

福島地区電友会　三森　陸美

空爆とまごう如と黄砂来る

角界にアニメ登場仰天す

トランプで経済占う世となりぬ

電友あさか会　山田　茂夫

飽きもせず読書・川柳・囲碁・将棋

遊びでは済まなくなった五七五

茶柱が立って弾んだ朝の靴

八戸地区電友会　和　吾

回り道迷路でなけりゃ佳とする

今は指昔は足で遊んだ子

俺の金引き出すのになんで金払う

弘前地区電友会　三上　幸光

年金の五割が消えるお年玉

哀れにも啄木の詩に同感し

鼻唄を唄えば鼻穴和んで来

弘前地区電友会　三上　幸子

口笛の声色で孫の気嫌知り

筆談で夫と今夜もアイラブユー

春らんまん八十寿半ばを生きる幸

弘前地区電友会　ゆきやなぎ

遅咲きは桜も人も深き色

恋花は一年草と決めてゐる

不器用も魔性と言はれた過去がある

青森地区電友会　舘山　生木

春めいて都民ファースト塾燃える

プレ金は半信半疑の船出かな

時流れ企業戦士がイクボスに

青森地区電友会　秋田　稔

幕のない人生だから急がない

新しい風に乗せたい夢ばかり

生きるコツ教えてくれた雑魚の群れ

千秋クラブ　　髙橋　幸雄

老木の手入れ怠り花少し
散ってなお見せ場をつくる花いかだ
たまに来る孫との遊びリハビリに

小牛田クラブ　　喜多さん

同級会話題は薬と孫自慢
安倍政権失態続きはおごりかな

小牛田クラブ　　のぶさん

「君の名は」内容違う爺と孫
無人駅アニメ映画で今聖地
孫からの電話に出れば婆バ居る

五ッ橋クラブ　　天道坊や

久しぶり朝から元気気のせいよ
かけっこで孫に負けても口で勝つ
コマーシャルパンパースは今や大人向け

五ッ橋クラブ　　一　風

記憶なし答案用紙に孫が書き
意気込んで挑む数独に遊ばれる
ここかしこメザシ幟の五月晴れ

五ッ橋クラブ　　山ボーイ

古希近しまだ深酒を悔いる朝
ハルゼミの抜け殻二つブナの森
ドサユサを云う人も無い散歩道

◎投稿は紙面の都合上、一人3句までとさせていただきます。多数投稿されている場合は勝手ながら編集担当で選定いたします。

ひとくちメモ

OB関連の問合せ先

NTT企業年金基金に関すること
NTT企業年金基金
フリーダイヤル
0120-372-547

NTTグループ規約型企業年金基金に関すること
企業年金ビジネスサービス
フリーダイヤル
0120-563-976

NTT健康保険組合に関すること
NTT健康保険組合
フリーダイヤル
0120-375-617

相互扶助部、住宅共済、火災共済等に関すること
電気通信共済会 福利厚生お客様総合センタ
フリーダイヤル
0120-137-294（ヒトミナフクシ）

ＮＴＴ東日本から退職者の皆さまへ

■長寿お祝いについて（勤続20年以上の退職者対象）

ＮＴＴ東日本社長からのメッセージを添えた「カタログギフト電報」と花を贈呈させていただきます。

長寿の種類	贈呈品
喜寿（77歳）	カタログギフト電報＋花 （1万円相当）（5千円）
米寿（88歳）	
白寿（99歳）	

（注：年齢は満年齢でNTT東日本が把握し贈呈しております）

■弔慰金の取扱いについて（勤続20年以上の退職者対象）

ＮＴＴ東日本から次のとおり香典をお贈りしています。

本　人・・・・・30,000円
配偶者・・・・・10,000円

長寿のお祝いおよび弔慰金に関するお問い合わせなどは、各支店の総務担当が窓口となっておりますので、遠慮なくご連絡ください。

ＮＴＴ東日本宮城事業部　各支店総務担当電話番号			
宮城	022-269-2020	青森	017-774-9229
福島	024-531-7481	山形	023-621-9515
岩手	019-625-4411	秋田	018-836-8923

◎表紙写真の紹介

シリーズ　よみがえるあのころ

～電話がみえる心の風景～

車窓から眺める電話局

最近、久しぶりに青森市営バスに乗る機会がありました。ＮＴＴの一つ手前の停留所で「次はＮＴＴ前」とアナウンスが入り、懐かしいなあ～と思い車窓から、つい眺めてしまいました。そして交差点の信号を見ると『ＮＴＴ前』のネームがついていました。現役時代を懐かしみながらこの写真を表紙にさせていただきました。

文／青森地区電友会　千葉　哲泰

●●●●　編集後記　●●●●

◆東北を縦横に駆け巡る『会員リレーコーナー〝どうもしばらくです〟』も４回目となり沢山の仲間が登場しています。８００字は少ないようで意外にすっきり伝えてくれます。バトンの渡った方、よろしくお願いします。

また、今回から会報の表紙を『シリーズよみがえるあのころ～電話がみえる心の風景～』と題して、どこかに電話や職場の思い出の見える風景を掲載していきます。青森を皮切りに各県持ち回りで担当します。懐かしい一枚に出会えましたら幸いです。

経費節約の折、会報の編集も頭の痛いことです。支部・地区便り等は、なるべく写真と簡単な補足で伝えていきます。この他、長い原稿等は、事務局で一部を割愛させて頂くこともあります。何卒ご理解の程お願いします。

今年は、例年より遅い梅雨入りとなりました。凌ぎ易いことは歓迎ですが、農作物への影響が少ないことを祈ります。

さて、会報がお手元に届く頃は一番暑い時期です。皆様、くれぐれもお体を大事に夏を乗り切ってください。（Ｓ・Ｔ）

◆81号の巻頭言はＮＴＴ東日本青森支店長に寄稿いただきました。大変、ありがとうございます。

◆次号（82号）会報について

・発行時期　平成30年1月1日

・原稿締切　平成29年10月20日（期日厳守）

◆次号（82号）の巻頭言はＮＴＴ東日本山形支店様、電友会山形支部にご協力をお願い致します。

東北電友会会報　第81号

平成29年8月1日発行

電友会東北地方本部

〒984-8519　仙台市若林区五橋３－２－１　ＮＴＴ五橋ビル内

電話　０２２－２１２－１４４３

ＦＡＸ　０２２－２１２－１４４４

印刷　株式会社　仙台紙工印刷

新入会員募集しています

電友会では、常時、新会員の受付をしています。
皆さんのご友人で入会されていない方がおいでになりましたら、
ぜひ、入会を勧めていただきますようお願いいたします。

【お問合せ・連絡先】

電友会東北地方本部　電話(022)212-1443